



学校法人 神奈川学園
精華小学校
 SEIKA ELEMENTARY SCHOOL

創立100周年を迎えて

校訓の実践と 児童の成長

2022年に創立100周年を迎える精華小学校。創立から変わらない校訓「人のおせわにならぬよう 人のおせわのできるよう」を通して、心身の健しさと逞しさを身に付けられるように指導しています。同時に、次代を見据えた英語教育や最新のICT教育、本物の価値に触れる体験学習にも積極的に取り組み、将来を担う人材の基礎づくりを行っています。



Anniversary

SEIKA ELEMENTARY SCHOOL



2020年度の野入生(101周年)は、コロナ禍の中、新しい生活様式を取り入れながら、元気に頑張っています。



理科の生物観察では、タブレットを積極的に活用しています。最新のICT機器によって学習への興味関心を深めています。

精華小学校の原点



1922(大正11)年4月に開校した精華小学校。佐藤善治郎先生から教育の一切を託された岸田与一先生は、第1回入学式で次のように語ります。「精華小学校が教育しようとしている児童は、大きな可能性や力強い底力を持った児童です。みんなを大きな人間、将来世の中のためになる児童に育てたいというのが理想です。のびのびとよくのびたい、いかに子どもらしい広い心をもった人間にしたいのです」と、これこそが、今に誇る精華小学校の原点といえましょう。

伝統の体験学習「関西旅行」

昭和の初めから続く伝統の「関西旅行」。現在は6年生になる直前の春休みに4泊5日の日程で行っています。奈良、高野山、京都の多くの名所を巡り、歴史的な背景について現地の方から学び、精進料理、唐津や茶道、舞坂さんの踊りなど、本物の日本文化を体験します。旅行後は、「関西旅行記」としてまとめ、文化祭で発表するなど、体験学習の集大成の場として、精華の伝統を継承しています。



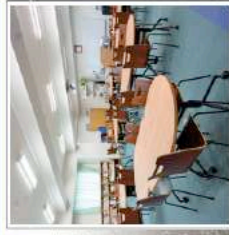
次代に向けたICT教育

現在、グローバル水準のICT教育に選したノートパソコンChromebookとタブレット型のiPadを各40台備えています。児童にGoogleアカウントを配布し、一新した「情報室」を中心にICT教育を実践しています。開校より変わらない教育を大切にしながら、時代の変化にも対応できるように、最新の教育環境を整えています。



「創立100周年記念事業」のお知らせ

創立100周年記念事業の第1弾として、2020年9月にICT教育の中心となる「情報室」が完成しました。さらに現在、「校庭からプロムナード(西グラウンド)階段の拡幅工事」「遊具の新設」が進行しています。今後、2022年の100周年に向けて、「校庭の人工芝の張り替え」「校舎内造作のリニューアル」「100周年記念誌の発行」「記念グッズ製作」「創立者自伝現代語訳冊子化」などの計画が予定されています。



「情報室」の机と椅子は自由にレイアウトできる設計です。大型プロジェクトが6月入っています。



精華小学校の始業1日目は、1922(大正11)年4月11日、第2校時、鐘餅公園で元気に開校を楽しみ子どもたちの帽子を、岸田与一先生は涙ぐみ見守っていました。